

## 第二回 レポート

本を使ったまちづくり活動を実践している方のお話を聴こう

日時：令和3年10月16日  
時間：13時30分-16時30分  
参加者：16名

本を扉にして  
まちへ出よう

～ホン×マチの新しいカタチ～



まちにはどんな「本を使った活動」があるのでしょうか。第二回目は、みんなで事例を持ち寄って、そのいいところを探します。そして実際に、本を使ってまちづくり活動をしている人にじっくりお話をききましょう。盛りだくさんの二回目が始まります！

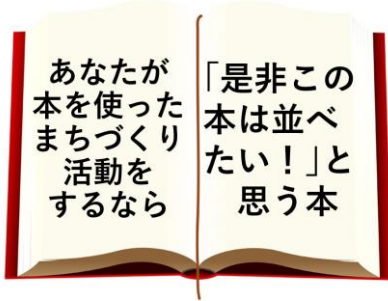
オンライン会場の様子



13:30	導入あいさつ
13:32	「持ち寄った一冊」紹介
13:45	グループワーク1
14:05	ゲストスピーカーの話
14:55	休憩
15:05	講義「企画づくりの基本」
15:25	図書館から
15:30	グループワーク2
16:25	エンディング

## アイスブレイク 本日のお題

この講座では、毎回お題の本を持ち寄り、ご紹介していただきます。  
一人30秒という時間内で、スピーディに。



本日は、自分のやりたい活動をイメージして選べるお題にしました。  
こんな人に来てほしい、こんな本を並べたい・・・  
自分の活動イメージも、自分が選んだ一冊から、具体的に広がっていくかも。

「この本読んだ。わたしも好き！」「これどんな本だろう、惹かれる！」  
そんな本が置いてある場合は、きっと魅力的にうつりますね。

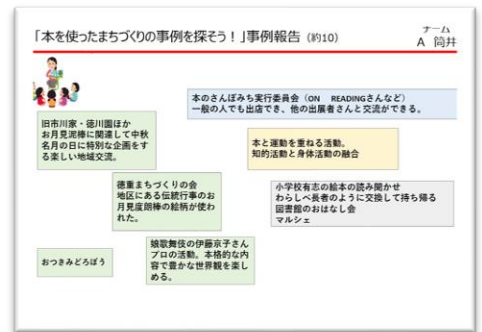
例えばこんな本が・・・！ 「海のアトリエ」「お父さんがキモい理由を説明するね」「イワンの馬鹿」

## グループワーク1

本とまちづくりって・・・？第一回目では、イメージしきれなかった受講生も、自分で事例を探す中で、「こんなものあるんだ！」と気が付きました。

中には5つも事例を出してくれた強者も。名古屋近辺の事例は、明日にでも見に行きたくなりますね。

偶然にも、同じ事例を持ち寄ったグループもあり、意気投合、盛り上がります。調べてみると、色んなホン×マチがありました。



## 宿題

「本を使ったまちづくり」の事例をさがそう！

## ゲストスピーカー ハピサンBooks服部さんのお話

前回の感想で、「次回のハピサンの服部さんの話が楽しみ！」というお声が寄せられていましたが、あれ?!服部さんが会場にいない??探さなきゃ!・・・と思っていたら、キノコをかぶった服部さんが、なんと、活動の拠点の一つ、「ハピサンハウス」から中継で登場。いつも一緒に活動している仲間も一緒に、お話ししてくれました。



本をやりとりする、「ありがとう」と言葉を交わす、それだけでもコミュニティが生まれる。ベンチ一つと本箱一つ置いてみる、それだけで、立ち寄ってくれる人がいる・・・そんなお話を聴いていると、「本があるまちづくり」が、優しく穏やかなものを感じられてきました。

# 講義 「本をつかったまちづくり活動 ～企画づくりの基本～」



本日の講師は、地域問題  
研究所の池田哲也さん。  
地元岩倉を「パフェ」で  
地域を活性化する活動を  
してるとか？！



本を使った企画づくりということで「何のために行うのか」「誰を幸せにしたいのか」というポイントから始まり、自分のやりたいこと「WISH」を大切にしながら「本をきっかけにして・ともに歩む、ともに楽しむ」という視点が大事、とお話いただきました。

## 図書館からのお役立ち情報

「企画の立て方」は分かったけど、本がなくちゃ…どうやって選ぶ…そんなお悩みに、本のエキスパート・司書が熱田図書館からやってきて、「本を借りる、だけではない」図書館の使い方をおしえてくれました。「団体貸出」「図書館で活動する」「本の寄贈」など、本を使ったまちづくり活動の一助となるかもしれませんね。



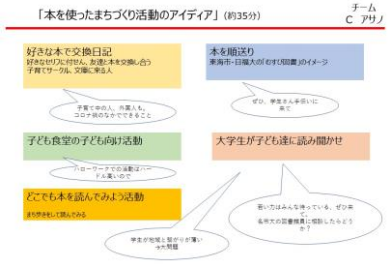
## グループワーク2

インプットが続いたあと、×のグループワークです。  
左の「活動アイデアシート」を使って、「こんなことをやってみよう」を、まずは気軽な思い付きで書いてみます。  
先ほど講義できいた、「何のため」「誰のため」も意識しながら…



**例えばこんな話が・・・！**

「読んだ本の感想を交わしたい」  
「喫茶店のモーニングとからめて・・・」  
「駅ピアノみたいな・・・」  
「〇〇のコーナー」  
「運動好き・野球好きのための・・・」  
キーワードだけでも、面白そうですね。

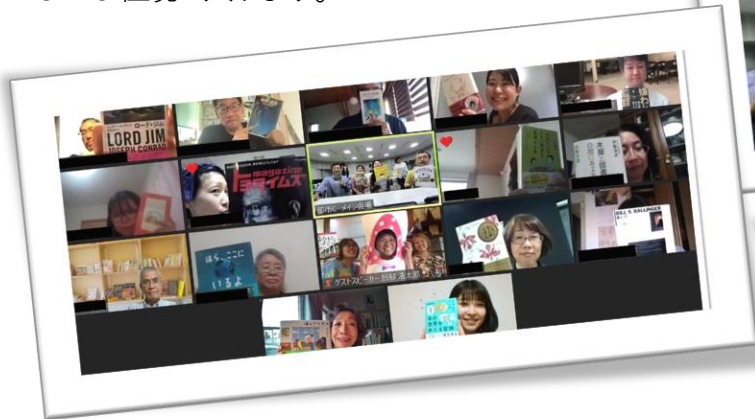


## 次回へ向けて

本日はは3時間、インプットの連続でしたが、皆さんの顔が充実感に満ちているようにみえました。

この勢いで次の宿題。  
みんなでまちあるきをしたいところですが、  
今年はそれぞれ歩いてみて、アイデアにピッタリな  
「活動場所（空間）」をさがしてみてくださいね。

最後は集合写真！  
大好きな本を持つと、皆さん自然な笑顔になります。  
次回は三回目。「ホン×マチ」の世界は、  
いよいよ佳境に入ります。



## 宿題



活動をイメージしながら、  
身近なまちを実際に歩いてみて、  
良さそうな場の写真を撮ってきて下さい（場所、人、空間）

※写真でなくとも、イラストやイメージでもOK！



## 振り返りシートより

・長時間だったが、**集中力が途切れず、中身の濃い**内容だった

・今回の講義で、活動を始める**ハードルは思っていたよりも高くないと気が付いた**

・様々な事例があり、既に出尽くしているのではと思っていたが、同じアイデアでも**視点が違うとまた新しいものが創出されるんだと**気が付いた

・チャット機能でたくさんの質問があがってきて、**すぐに回答処理が進んで効果的**。オンラインならではのと感じた。

・服部さんのきこ頭とほんわか笑顔に思わずこちらも**ほっこり**しました

・服部さんのお話し、**会話しなくても**、その場で本を読んでいるだけで一種のコミュニケーションが成り立つって、**本ならではの在り方**だなあって感じた

・ゆるやかに背伸びせずに続けることで、その**楽しさが周りに、まちに、広がっていく**のを感じた

・池田さんの話、やりたいことを実現したら幸せになるのか、というのは、**いわれてみれば本当に大事なこと**だと思った

・池田さんの話、活動の参考になり、もっとききたいと思った。

・**一人でも**まちづくりは始められる、ということを改めて学んだとともに、**仲間がいれば何倍もの加速度**がつくことも経験上知っている。この講座で後々集まったり、相談できる**繋がりができたらいいな**。

・グループワークでは、他の人たちが本を使って**まちを良くしたいという思い**があると分かり、自分も**勇気をもって**一歩踏み出したいと思った

・意見を出し合うのは本当に**刺激**を受ける。自分の考えていたことも、言えてよかった。

・実際に活動するところまで**後押し**してくれるのが、このプログラムのすごいところだと思う。考えても実現させないことも多いので、今回は**ちょっとでも形にできたらいいな**と思う。

・グループでご一緒させていただいた方の活動、ワクワクしたり、地域に根差した活動だと感じたり、感心しました。**お二人の活動に参加したい！**